

現世げんせいに利益りやくす — 出世間しゅっせけん 衆生しゅじょうの中のなかのほとけ仏ほとけとなる — (五版)

一切衆生いっさいしゅじょうを利益りやくせん  
如来にょらいの教おしえに隔へだてなし

無明むみょうを脱だつせぬ輩ともがらは

自分じぶんの利益りえきになるべきと

貪むさぼる心こころに大迷だいめいす

世法せほうを出いでた得度とくどのひとは

天神地祇てんじんちぎも擁護ようごせん

一切世間いっさいせけんの損得そんとく苦樂くらく

名利みょうりに執しゆうせぬ得度とくどなり

仏法ぶつぽう重おもくし全すべてに利益りやく

それが出家しゆつげの本懐ほんかいぞ

浮世うきよの中なかにも教おしえを行ぎようず

仏ほとけの教おしえ生死しやうじも問とわぬ

現世げんせいに利益りやくし衆生しゅじょうを濟すくわん

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文